

平成21年度「共同利用・共同研究拠点」認定拠点一覧(大阪大学関連)

【単独型】

大学・研究施設名	共同利用・共同研究拠点名	代表者	研究分野	共同利用・共同研究拠点の概要
大阪大学接合科学研究所 http://www.jwri.osaka-u.ac.jp	接合科学共同利用・共同研究拠点	中田 一博	材料加工・処理	<p>○接合全般に関する研究を通じて、人類社会のニーズに応える接合科学の発展と学問構築を図る。</p> <p>○基盤である加工プロセス、接合機構、評価の3研究領域と接合を中心とする先進プロセス科学に関する研究を両輪として押し進めると共に、当研究所が有する溶接・接合に関する設備、知識等を共同研究員に供することにより国内外の研究者コミュニティに開かれた接合科学に関する我が国唯一の拠点としての役割を果たす。</p> <p>○産業界との多様な連携を行い産学連携の中核的拠点となること、また、各国の関連機関との学術交流等を通じて、接合科学における世界のCOEとしての役割を果たすことを目指す。</p>
大阪大学蛋白質研究所 http://www.protein.osaka-u.ac.jp	蛋白質研究共同利用・共同研究拠点	相本 三郎	生物分子科学	<p>○多様な機能・構造・物性をもつ蛋白質の基礎的、応用的研究を共同実施する拠点を形成し、我が国の生命科学の飛躍的発展に貢献することを目的とする。</p> <p>○特殊機器あるいは大型機器(SPring-8生体超分子構造解析ビームライン、溶液・固定NMR装置等)を共同利用に資するとともに、多くの分野から共同研究員を受け入れて蛋白質に関する研究を推進する。また蛋白質研究所セミナーを通じて研究交流や情報発信の場となる事業を展開する。</p> <p>○蛋白質研究を推進する中核として、時代を先導する蛋白質研究の基盤的技術や方法論の開発を目指すとともに、時代の要請する課題に取り組む。また、次世代の生命科学研究を切り開く人材を育成する。</p>
大阪大学微生物病研究所 http://www.biken.osaka-u.ac.jp	微生物病共同研究拠点	菊谷 仁	感染症学・生体応答医学	<p>○微生物病に関する研究の発展と新興・再興感染症に対する迅速な取り組みを望む研究者コミュニティの要望に応えるべく、本研究所に集約・設置された知識・技術、研究施設を基に、多様な先端的共同研究を推進するとともに、本領域を積極的、意欲的に担う研究者を教育・育成する。</p> <p>○1)公募による学外研究者との共同研究、2)研究者コミュニティへの研究資源の分配、3)感染症学・生体応答医学に関する情報発信、教育・啓発活動、を実施する。</p> <p>○公募共同研究を通じて異分野交流を活性化し、共同研究を支援する中から斬新な発想のできる若手研究者の育成に努める。</p>
大阪大学社会経済研究所 http://www.iser.osaka-u.ac.jp	行動経済学研究拠点	小野 善康	行動経済学	<p>○狭義の合理性をもとにした伝統的な経済学では解決できなかった不況・格差・中毒などの経済問題に関する研究の発展を目的とする。</p> <p>○時間割引率プロジェクト、公共財の供給行動プロジェクト、利他性プロジェクト、競争選好プロジェクト及び流動性選好プロジェクトなどの共同研究を推進する。</p> <p>○行動経済学的手法を用いた研究により、新たな知見の創出、課題の発見、共同研究への若手研究者の参加の促進等を行うことで、経済学分野全体の発展に寄与し、政策提言につなげることを目指す。</p>
大阪大学核物理研究センター http://www.rcnp.osaka-u.ac.jp	サブアトム科学共同研究拠点	岸本 忠史	素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理	<p>○本センターを中心に、理学研究科の原子核実験施設と協力して、原子核物理学を中心に関連分野に跨る大型装置を中心とする最先端研究を推進する研究拠点、研究体制を形成する。</p> <p>○原子核構造や反応研究に加え、宇宙の物質創成や星中元素合成の謎に関わる基礎的研究分野、理学から医学工学への応用など、幅広い分野で最先端研究を推進する。</p> <p>○特色あるリングサイクロトロン施設とレーザー電子光施設(LEPS施設)を運転し、原子核物理学研究者の基盤的研究の発展を図り、関連分野の研究者の要望に応える。</p> <p>○中大型装置を持つ他研究機関と連携し、人材と装置を有機的かつ効率的に活用できる研究環境を作る。本拠点並びに日本の研究レベルを最高に保つ。</p>

大学・研究施設名	共同利用・共同研究拠点名	代表者	研究分野	共同利用・共同研究拠点の概要
大阪大学レーザー エネルギー学研究センター http://www.ile.osaka-u.ac.jp/	レーザーエネルギー学 先端研究拠点	疇地 宏	プラズマ科学	<p>○世界最大級の高出力レーザー装置並びに関連施設を国内外の研究者の共同利用に供することによって、レーザーエネルギー学の基礎と応用に関する研究・教育を推進することを目的とする。</p> <p>○これまで培われた高出力レーザー技術を基盤に、常に先端的な研究環境を提供し、高出力レーザー科学並びに高エネルギー密度科学コミュニティの国内唯一、国際的にもユニークな実験、研究拠点として、優れた研究者の叡智を結集させて、当該分野の学術基盤の充実を図るとともに、エネルギー開発を含む広い産業応用並びに医療応用が期待される当該研究領域の研究を戦略的、学際的に推進する。</p>

【ネットワーク型】(○のついた研究施設は、各ネットワーク拠点の中核となる研究施設)

大学・研究施設名	共同利用・共同研究拠点名	代表者	研究分野	共同利用・共同研究拠点の概要
大阪大学産業科学研究所 ○ http://www.sanken.osaka-u.ac.jp/	物質・デバイス領域 共同研究拠点	山口 明人	物質・デバイス科学	<p>○安心安全で質の高い生活ができ持続可能な社会の実現に向けた「情報、環境、エネルギー、医療」社会システムの構築は大きな課題となっている。その課題解決に必要な不可欠な物質創製からデバイス開発に至る基盤科学技術を格段に発展させるために、社会及び研究者コミュニティの要望に応じて、「物質・デバイス領域」の共同研究を促進する開かれたネットワーク型拠点を形成し、相乗・相補的效果を発揮し、物質・デバイス領域で多様な先端的・学際的共同研究を推進する。</p> <p>○5つの研究所は、物質・デバイス領域では国際的にも高い評価がある。また、平成18年度より特別教育研究経費による附置研究所間連携事業を展開し、ネットワーク型連携共同研究に十分な実績がある。拠点では、物質創製開発、物質組織化学、ナノシステム科学、ナノサイエンス・デバイス、物質機能化学の研究領域を横断する「物質・デバイス領域」の公募による共同研究システムを整備して学際的連携共同研究を推進し、革新的物質・デバイスを創出することで、将来の豊かな人類社会の構築に絶大な貢献を果たす。</p>
北海道大学電子科学 研究所				
東北大学多元物質科学 研究所				
東京工業大学資源化学 研究所				
九州大学先導物質化学 研究所				
大阪大学サイバー メディアセンター http://www.cmc.osaka-u.ac.jp	学際大規模情報基盤 共同利用・共同研究拠点	米澤 明憲	計算科学・ 計算機科学	<p>○ネットワーク型拠点の有する超大規模計算機と大容量情報基盤を用いて、これまで解決が困難とされてきたグランドチャレンジ的な研究領域において、学際的な共同利用・共同研究を実施することにより、我が国の学術・研究基盤の更なる高度化と恒常的な発展に資することを目的とする。</p> <p>○(1)超大規模数値計算系応用分野、(2)超大規模データ処理系応用分野、(3)超大容量ネットワーク技術分野、(4)構成拠点の特色を強く反映する研究分野、の各分野に対して、共同研究の公募課題の設定、実施課題の採択を実施し、課題応募者と8大学の教員・研究者との緊密な連携のもとに本ネットワーク型拠点の有する計算・情報処理資源を集中的に連携した学際的な研究を実施する。</p>
○ 東京大学情報基盤 センター				
北海道大学情報基盤 センター				
東北大学サイバー サイエンスセンター				
東京工業大学学術国際 情報センター				
名古屋大学情報基盤 センター				
京都大学学術情報 メディアセンター				
九州大学情報基盤 研究開発セン ター				